

第3学年

お話を版で表そう

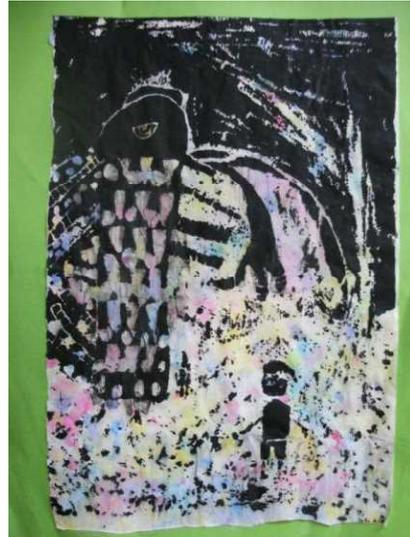
～国語の物語教材の学習を生かして～

- めあて ・ スチレン版画の技法を生かして、物語の場面に合うイメージを版で表す。
- 準備物 ・ 関連する本、スチレン版画板、彫刻刀・ニードル、版画用紙
 ・ ローラーなど刷りに使う物（教師）
 ・ 鉛筆など彫りに使う物、 絵の具（児童）

「モチモチの木」



「火の鳥」



学習内容	実践上の留意点
○国語教材に関連のある物語の読み聞かせを聞く。	・「三年峠」と関連して韓国の話「とらとほしがき」、「モチモチの木」と関連して齊藤隆介の話「火の鳥」を聞かせる。
○下絵を描く。	・挿絵は見ないようにして、物語に合う自分のイメージを広げさせる。
○絵の中で彫るところを決める。	・線を残す場合には、太めにする必要があるなど、木版画の技法について指導する。 ・彫るところ、彫らないところを決め、彫らないところに色を塗らせる。
○ニードルなどで彫る。	・鉛筆、フォークなど道具によって、線や面の感じが違うことに気づかせる。
○刷る。	
○「棟方志功」の作品を鑑賞する。	・版画作品に色を組み合わせることによる美しさについて、鑑賞させる。
○刷った作品の裏から彩色する。	・版画作品を生かすように、薄く彩色させる。
○版画作品をスクリーンに映して、物語の音読会をする。	・版画作品を音読を聞きながら味わうようにする。

